

トシボロ

学校だより 令和六年度第十一号 (通巻四九三号)



自主・気魄・根性

発行
令和7年3月25日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
TEL 09969-3-2002
責任者
校長 加藤 晃一

卒業おめでとう

校長 加藤 晃一

厳しかった寒さも和らぎ、暖かな日差しと南東のさわやかな潮の香りに、春の到来を感じる季節となりました。校庭や甑島の野山では、市鳥であるメジロたちが梅や椿の花の蜜を求めてかわいらしい姿を見せています。春は、別れと出会いの季節。先日は、長年、甑島の人々の生活の支えであった「フェリーニューこしき」の最後の運航を見守ろうと、里港、長浜港でそれぞれお別れセレモニーが行われました。里中学校も全校生徒で参加し、フェリーニューこしきと乗組員の方々の労をねぎらうとともに、感謝の気持ちを伝えました。

さて、3月12日に第78回薩摩川内市立里中学校卒業式を挙行いたしました。当日は、保護者を始め、たくさんのお来賓や地域の方々に参加していただき、厚くお礼申し上げます。今年も、13人が里中学校から巣立っていきまされた。ご家族、ご親族の皆様におかれましては、これまでの15年間の歩みを様々な感慨をもって噛みしめての御出席ありがとうございました。卒業式では、在校生代表の生徒会長石原航介さんが卒業生一人一人の名前を呼びながら、中学校生活の思い出を振り返りました。また、卒業生代表の橋口妃奈乃さんは、職員、後輩たち、地域の方々へのメッセージを送ると共に、三年間共に過ごした学級の仲間達とこれまで育てていただいた保護者への感謝の思いを伝えました。会場は、感動の涙につつまれました。

私は、卒業生に向けて、作家・喜多川泰さん著書の「手紙屋 蛍雪編」を紹介しながら、「学び続ける気持ちをもち続けてほしい」と伝えました。これは、1、2年生にも共通する願いです。「勉強するとは、今までこの地球上に存在した人々が経験し、発見しては次の世代へと伝えてきた素晴らしい知識や知恵を、今度は自分が受け継ぎ、自分のものにする事だ。」
「勉強」という道具は、自分をピカピカに磨いて、昨日とは違う自分になるためにある。

これから先、生きていく時代は、めまぐるしく変化する予測困難な時代です。その中で幸せや豊かさを感じながら生きて行くために、勉強すること、前向きに臨み、保護者から授かった可能性溢れる才能を大きく開花させてほしいと願います。
卒業生は、いよいよ「島立ち」を迎えます。新しく就航する「結Line こしき」に乗って、輝く未来に自信をもって旅立ってほしいと思います。
「顔には笑顔 胸には感謝 背中には誇り」

お薦めの一冊 鮫島香織先生



ナミヤ雑貨店の奇蹟

東野圭吾 著

東野圭吾さんの小説で、7年前には映画化されました。過去と現在が繋がる不思議な雑貨店での時空を超えた手紙のやり取り。相談者から届く手紙と主人公たちとの不思議な共通点。雑貨店と主人公たちとの繋がり。東野圭吾さんといえはミステリーとイメージがあったのですが、温かい気持ちになりました。ときに読みたくなる涙なしでは読めない一冊です。

卒業そして「島立ち」へ

3月6日の公立高校一般入試終了後、3年生は最後の中学校の思い出づくりの週でした。

7日の球技大会では、保健部を中心に大会を無事に成功させることができました。校庭いっぱい響き渡る歓声が起る場面もあり、全校生徒が大いに楽しめた大会となりました。

8日には、全校音楽があり、体育館で各学年で合唱を歌い合い、楽しみました。職員も合唱を披露しました。特に、3年生の合唱「サザンカ」の歌詞とともに、思いを込めて歌う姿に、心にぐっとくるものがありました。

12日、甑島振興局局長堂元光様をはじめ来賓の方々、保護者、在校生の見守る中、第78回卒業式が挙行されました。晴れやかな表情で校長先生から卒業証書を受け取り、まっすぐなまなざしで話を聴く姿から3年間の中学校生活での充実感と、「島立ち」に向け希望に満ちあふれた表情をしていました。式の中では、原田PTA会長からの温かい励ましの言葉がありました。送辞では、石原航介さんが卒業生一人一人の思い出を語り、答辞では、橋口妃奈乃さんが3年間の思い出や後輩、保護者、先生方、地域の方々への感謝の気持ちを述べました。13名の卒業生が歌う最後の合唱では、一人一人の思いが感じられ感動の卒業式になりました。



フェリーニューこしき最終運航の見送り

3月5日、フェリーニューこしきの最終運航があり、全校生徒、里港で見送りました。22年間、甑島と串木野間を運んでくれました。感謝の気持ちを表そうと生徒会が中心となってメッセージを集めた色紙を船長さんに贈りました。



鹿児島学力・学習状況の結果

今年1月に中学1、2年生を対象に行われた「鹿児島学力・学習状況調査」。全国初のタブレット端末を活用した学力検査でした。これまでの紙のテストではできなかった動画や音声など様々なツールを利用した問題が出題されました。生徒たちは使い慣れており、スムーズに取り組んでいました。結果もほとんどの教科で県平均を上回ることができました。特に、家庭学習が充実している生徒が高得点を上げています。今後、特に通過率の低い問題はやり直しをするなどして補充指導をしたり、類似問題にも取り組ませたりしながら、学力の定着を図っていきます。

また、結果をもとに職員研修を行い、以下のような課題と解決策が出されました。

- 「思考・判断・表現」、「資料の活用」領域に課題が見られる。⇒自分の考えをもたせ、交流するという学習体験を増やす。
- 資料や問題の捉え方の間違いが見られる。⇒これまでの学習や経験を想起させ、学びの「連続性」を子どもが実感できるようにする。
- 時間を意識し、長文を速く正確に読み、必要な情報を的確に捉える力を育てる。
- 家庭学習量が不足している⇒生徒が家庭学習を「やる意味」を見出せるように、学校の授業と家庭学習とのつながりを更に深く考えさせ、取り組んでみたくなる工夫をする。

【県と本校との比較】 ◎ > 県平均 > Δ > ▲
5P以上 0 -5P以下

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	◎	◎	◎	◎	◎
2年	○	◎	Δ	○	Δ

23日目焼酎「島立ち」完成

2・3年生がラベル貼りなど丁寧に行い、今年度も無事に焼酎「島立ち」が出来ました。土砂降りの芋掘りで苦勞した分、いい出来の焼酎になったそうです。塩田酒造様、芋づくり協力員の方々、準会員の皆様に感謝します。



竹ほうきの寄贈

堀之内運送株式会社様より竹ほうき5本の寄贈がありました。学校の美化に役立っています。ありがとうございました。



令和7年度 第2土曜日の登校は年間7日に

甑島の全小中学校において、来年度の第2土曜日の登校は、月曜日が休日の場合、実施されません。9月、10月、1月の第2土曜日は週休日になります。

おめでとう！

- ★ 第5回タイヨー武道具剣道錬成大会
中学生団体女子の部 準優勝(小川、川畑、西園)
中学生個人女子の部 3位 小川 千咲
- ★ 県下中学校新人柔道大会
66kg級 第3位 石原 航介
- ★ 令和六年度明るい選挙啓発習字コンクール
入選 馬場 結

入学式のお知らせ

下記の日程で行います。御家族、御親族お誘い合わせの上、御出席をお待ちしております。
月日 4月7日(月)
時間 14時00分～14時50分(受付13:35～)

4月の行事

- 7日(月) 新任式・始業式・入学式
- 8日(火) 生活・学習ガイダンス、身体測定
- 9日(水) 生徒会対面式、PTA専門部会・理事会
- 10日(木) 標準学力検査(～11日)
- 11日(金) 知能検査
- 14日(月) 3年全国学調質問紙、理科CBT
- 15日(火) 交通安全教室・教育相談週間(～23日)
- 16日(水) 学級PTA・PTA総会
- 17日(木) 3年全国学力学習状況調査(国・数)
避難訓練(不審者対応)
- 24日(木) 生徒総会